



2026年3月4日

各 位

会 社 名 株式会社アドバンテスト
代表者名 代表取締役兼経営執行役員社長 Group C00
津久井 幸一
(コード番号 6857 東証プライム)
問合せ先 執行役員 Co-CHO & Co-CCO
吉本 康志
(TEL: 03-3214-7500)

サイバーセキュリティインシデントに関するお知らせ（続報）

1. 現在の状況

先般公表いたしました当社一部システムにおけるサイバーセキュリティインシデントにつきまして、影響を受けたシステム及びオペレーションの復旧状況に関する続報をお知らせいたします。

まず、重要な点として、生産、出荷、カスタマーサポート活動を含む当社の中核業務は現状問題なく稼働しており、また、その他のシステムに関しても適切な管理の下で安全な方法により復旧を進めていることを報告いたします。

2. 経緯と対応

当社は、本件インシデントを認識して以降、Palo Alto Networks Unit 42 を含む外部のサイバーセキュリティ専門家と緊密に連携し、問題の調査、封じ込め及び修復対応を行うとともに、当社のシステムの安全性と整合性を確保してまいりました。また、捜査機関を含む関係当局にもすでに本件に関して報告を行っています。このように迅速に封じ込め措置をとり事業継続計画を発動したことにより、業務中断のリスクを最小限に抑え、顧客へのサービス提供を支障なく継続することができたと考えております。連携している外部サイバーセキュリティ専門家によれば、これらの対応の結果、現時点において当社のシステム環境からは不正な侵入者は排除されたものと確認されております。

対応策の一環として、当社は、影響を受けた可能性のあるシステムを隔離し、さらに慎重を期すべく他のシステムも予防的に停止し、問題の分析と封じ込めを実施いたしました。また、これらの措置をとることにより、当社の顧客、パートナー及びサプライヤーに対して業務上の問題を生じさせる可能性があったことを考慮し、当社は、システムの完全復旧に向けた作業と並行して、これらの問題に対処するための対応策も講じてきました。

現在も進めている調査の一環として、当社は、世界的な大手サイバーセキュリティ専門家と緊密に連携し、不正アクセスを受けた又は流出した可能性のあるデータの特定を進めております。その上で、影響を受けた関係者の方々には適宜に連絡させていただく所存です。連携している外部サイバーセキュリティ専門家は現在も継続してモニタリングを実施しておりますが、本インシデントに関連するデータが公開された兆候はこれまで確認されていません。

3. 今後の見通し

現時点での評価に基づき、本インシデントによる 2026 年 3 月期の業績への重大な影響はないものと見込んでおります。

システムのセキュリティと完全性を保護すること、そして顧客に信頼性の高い製品とサポートを提供することは、当社にとっての最優先事項です。当社は、顧客と密接に連携して本件への対応を進めてまいり所存です。